学校運営協議会 実施報告書

寝屋川市立第三中学校
校　長　　三國　秀彦
寝屋川市立北小学校
校　長　　森本　朋美
寝屋川市立田井小学校
校　長　　白石　克己

１．コミュニティ・スクールとしての成果と課題（中学校区としての取組）

成　果	○中学校区三校が共有した目標を定め、目標達成に向けて学校・家庭・地域が連携した取組を進めることができた。 ○学校運営協議会委員からの意見を参考に、課題を明確にすることで中学校区が一体となり、子どもたちの成長に向けた取組を推進することができた。 ○今年度、学校運営協議会の回数を増やしたことで、意見聴取を深めることができ、学校運営に活用することができた。
課　題	○学校運営協議会の場だけでなく、あらゆる機会を活用し、委員や地域からの情報収集に努める必要がある。 ○協議内容や取組の状況について、学校だより等を活用し、引き続き情報提供を行い、校区の取組について理解が得られるよう努める必要がある。

学校運営協議会　開催回数　※年度末までの予定を含む（６）回

２．学校運営協議会からの意見について（中学校区としての取組）

	学校運営協議会からの意見集約
学校の経営 （生徒指導の方針、人権教育の推進、教育課程の編成等）	○三中校区として、三校が連携して、小中一貫教育の推進に努められている。三中校区では、二小学校が、校区の目標達成に向けて、それぞれ特徴的な取組をされている。 ○ＡＩに関することやＳＮＳ等、情報モラルに関する指導の充実を願う。 ○算数・数学・英語での少人数教育が推進され、子どもがわかりやすいと実感できる教育ができており、各種学力調査の結果にも表れている。 ○「あいさつ」の指導について、学校教育自己診断アンケートの結果からも分かる通り、しっかり取り組まれている。 ○学校行事や委員会活動が活発で、児童生徒にとって充実した学校生活が送れていることが伺える。三中でのオープンザマインドでは、様々な意見が聞けて良かった。
学校組織の運営 （学校運営体制、危機・安全管理、施設管理、事務管理等）	○三中が取り組まれている「学年担任制」は、先生たちの業務の均等化になり、働き方改革につながって、いい取組と感じる。 ○地震や火災の避難訓練だけでなく、不審者対応や救急救命法についても実施されている。また、雷や豪雨時の待機など保護者の理解を得ながら児童の安全確保に努めている。 ○登下校指導等、見守り隊からの情報を教職員で共有し、安全指導に努めている。
人の管理・育成 （人材育成、人材活用、教職員の意識改革、服務管理等）	○事例やチェックリストを活用し、服務規律の徹底に努めている。 ○働き方改革に取り組み、勤務時間の徹底に努めている。部活動においてもガイドラインに従い、超過勤務時間の縮減に努めている。 ○今後も各校の良き伝統を守っていって欲しい。

地域連携・渉外 （保護者・地域等との連携、開かれた学校づくり、学校評価活動等）	○地域や保・幼・小が連携した行事が行われており、今後も協力していきたい。 ○各種体験を通して子どもたちに貴重な体験をさせたいという願いが伝わってきた。 ○地域の行事へのパトロールを実施されるなど、先生方の協力がありがたい。 ○今後も運動会・体育大会や各行事、授業参観など学校の様子をぜひ見に行きたい。
その他	○学校でも指導されているとは思うが、公園の利用や自転車の二人乗りなど、改善に向けて地域と連携して指導されることを願う。特に厳罰化される自転車の安全な利用について、指導を充実されることを期待する。 ○トイレや教室の大きさなど、学校施設の充実化を進めていただきたい。